



# 活力と魅力で、 持続可能な綾瀬を創る

「継続と革新」を基本姿勢に4年間市政を担ってまいりました。この間、多くの市民と交流を深めることで、綾瀬の地域特性や地域資源を実感することができました。

少子高齢化、人口減少が進む中では、将来を見据えた「持続可能性」を高めることが重要です。次の4年間で、綾瀬市が発展していくべき道筋を「市民との共同作品」として確かなものにしていきたいと思っております。

## 持続可能なまちづくりに向けて

- ① 地域の安全、安心、愛着を高め、生活の質の向上を図る
- ② 地域特性や地域資源を活かした施策を展開する
- ③ 公共施設の適正配置や財政の健全化など効率的な都市経営を進める

## 活力と魅力を高める今後の取り組み

- スマートインターと道の駅を整備し、地域活性化を推進
  - 道の駅、市役所、商業施設、文化センターの中心エリアに賑わいの空間を創出
  - 下水汚泥を活用したバイオマス発電の検討
  - ものづくり現場に、AIやIoTの導入、外国人人材の受入を促進
  - ロケ地の観光化とロケツーリズムの推進
  - 野菜のブランド化と都市型農業の推進
  - 地域包括ケアの拡充と元気高齢者施策の推進
  - 高齢者・障がい者の移動支援と地域支え合いの拡充
  - 健康づくりと生活習慣病予防の推進
  - 待機児童の解消と養育・教育機能の向上
  - 子どもの居場所づくりと子ども食堂の拡大
  - 厚木基地への留学プロジェクトを推進
  - 地震・水害等の防災対策の充実と感染症との複合災害への備えを推進
  - 外国人市民が活躍する多文化共生社会の創造
  - 人口減少に合わせた公共施設の適正配置
- ★新型コロナウイルスの感染状況によっては安全対策や支援策を優先し、事業見直しも必要となります。またアフター・コロナ時代を見据え、行政や教育など各分野でのデジタル化を進めます。



# 4年間の軌跡—多くの施策を実現

## 1 都市づくり

● スマートインターとパーク&バスライドの整備に着手



● スマートインター周辺地域の環境保全のために地区計画を策定

## 2 産業の活性化

● 市内企業の人材育成を図る「あやせ工場」 合同入社式・合同研修を開催



● 観光資源としての口ケ誘致と口ケ地看板を設置、綾瀬を舞台にした短編映画「ルーツ」を制作



©神崎まこと

● 綾瀬ブランド第1号として「菜速あやせコーン」を認定

## 3 地域福祉社会の実現

● 保健福祉プラザの開設と綾瀬市の特性を活かした地域包括ケアシステムの構築

● 高齢者の社会参加を促進するアクティブ・シニア応援窓口の設置



● 元気高齢者施策の推進と大学との共同研究

● 高齢者・障がい者の移動支援担い手の育成

## 4 子ども・女性政策

● 小児医療費無料化を中学3年生まで拡充  
● 体調不安のある子どもを預かる病児保育を開設

● 産後健診費用の支援と産後ケアを実施

● 非認知能力を育む体験参加型講座を開催



● 小学校の少人数学級を4年生まで拡充

## 5 都市の質の向上

● 浸水対策として小園地区にバイパス管、落合地区に遊水地を整備

● 避難所用マンホールトイレの設置と災害用仮設風呂を導入



● 金属スクラップの適正保管を図る県内初の有価物保管条例を制定

● 目久尻川歴史文化ゾーン構想を策定

● 市立図書館に電子書籍1万冊以上を導入し電子図書館を開設

● 外国人市民の言葉の壁を解消する取組実施

● 厚木基地の空母艦載機移駐と航空機騒音の低減